



めざそう！なりたい自分

こちら鹿児島市小野町
武岡台特別支援学校

進路指導情報局

令和6年度第1号

令和6年12月6日

鹿児島県立武岡台特別支援学校

進路指導係

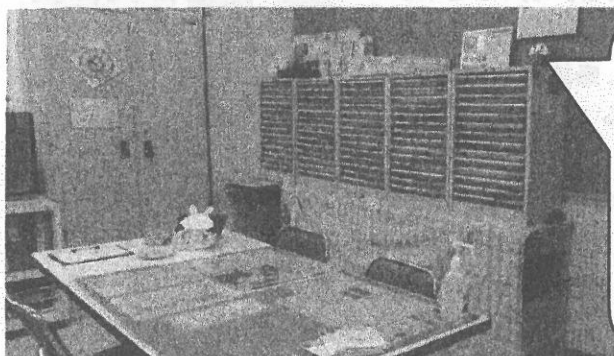
☆「めざそう！なりたい自分」

令和6年度、本校の進路指導キャッチフレーズは変わらず、「めざそう！なりたい自分」です。児童生徒一人一人の豊かな自立と社会参加，自己実現を目指し，本人を真ん中に置きながら，学校・家庭・地域で連携して取り組んでいきましょう！

保護者の皆様へお知らせとお願い



① 進路指導室はD棟（高等部）3階第5プレイルーム横です。



・施設パンフレットや企業情報，指導資料などたくさん収集しています。

・随時，相談受付中です。

例）どんな施設を見学したらいいの？

研修会で聞いた〇〇をもっと教えてほしい

〇〇についてはどこに相談したらいいんでしょうか？

☆まずは担任や学年主任にお申し出ください。

② 早い時期からの施設見学や研修会などへの参加などをおすすめします。

- ・ 学年，学級，保護者同士，御家族での事業所見学
- ・ PTA主催の施設見学や研修会（本校PTA，県知P連，市P連）
- ・ 地域の中の福祉イベントや事業所単位の見学会，研修会，体験会など

③ 本校全教職員で共通理解している今年度進路指導の取組目標が3点あります。以下の内容を確認する機会として，年3回のミーティング，進路相談，連絡帳，日常的な学校・家庭間のやりとりを充実していきたいと考えています。

- ・ 「〇〇さんの将来をどのようにお考えですか？」と必ず保護者との面談で話題にする。
→みなさん，どのように答えますか？ぜひこの機会に御家族でも話題にしてくださいね。
- ・ 「個別の教育支援計画」をもとに，「支援者」と「役割（すること）」を確認して実際に取り組む。
→「支援者」である学校（担任），家庭（保護者），放デイ事業所担当，相談支援専門員，医師など児童生徒と関わる人を明らかにして，その支援者が具体的にすることを確実に確認しましょう。また，年度末にはその取組ができたか評価（振り返り）をしましょう。
- ・ 児童生徒一人一人の「できること」「むずかしいこと」「支援があればできること」を支援者間で共有できるよう，話し合ったり確認したりする。

～ 卒業後の豊かな生活に向けて ～

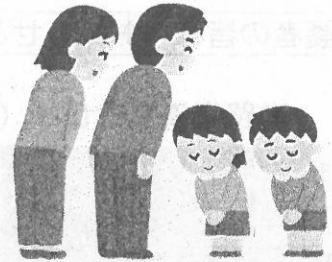
5年ほど前に、当時、大正大学教授を務められていた玉井邦夫先生の講義を聞く機会がありました。(玉井先生は、ダウン症のあるお子さんをもつ父親であり、日本ダウン症協会の代表理事も務められていた方です。)

玉井先生は講義の中で、「学校教育は『技能』偏重の傾向があるが、実際に学校卒業後の成人期に求められるのは技能の有無ではなく、『態度』の善し悪しである。」と指摘されました。つまり、その人の態度によって、成人期における周りからの生活支援の度合いが異なってくるということです。もちろん、態度がよければそれだけでいいということではなく、技能と態度の両方をバランスよく、身に付けることができるようにすることが大切なのは言うまでもありません。

では、子供たちに身に付けてほしい態度をいくつか挙げてみましょう。

1 あいさつ

元気なあいさつを交わすことで、お互いに気持ち明るくなります。そしてなによりも、あいさつはコミュニケーションの第一歩。周りの人々と仲良くなるために、とても大切なことです。また、「ありがとうございます」や「お願いします」と言えることも大切です。私たちは、お互いに支え合って生活していかなければなりません。感謝の言葉を、しっかりと伝えることで、より充実したサポートを受けることができます。



2 言葉遣い

相手が傷つくような乱暴な言葉遣いはもってのほかですが、乱暴でなくても、あまりにも馴れ馴れしい言葉遣いもNGです。どんなに親しい間柄でも、場面に応じて丁寧な言葉遣いをすることが大切です。学校では、休み時間と授業時間では、教師と子供たちとの言葉遣いにメリハリを付けるようにしています。

また、言葉だけではなく、話す速さや抑揚、声の大きさにも気を付けることも大切です。大声が苦手な人もいます。日頃からゆっくりと穏やかに話すことができるようになるといいですね。

3 マナー・ルール

社会には様々なマナーやルールがあります。同じように学校にも、みんなが過ごしやすくなるためのマナーやルールがあります。例えば、給食で食事をするときのマナーやトイレを使うときのマナー、授業で発表をするときのマナー、発表を聞くときのマナー、そして友達との遊びの中でも遊びのルールやマナーがあります。

また、校外学習や宿泊学習、修学旅行などは社会のマナーやルールを知るいい機会です。さらに、家庭でも、日常生活の中でマナーを学ぶ機会がたくさんあると思います。子供がマナーやルールを適切に守ることができたときに、その行動を認めてほめるようにしたいものです。

○ このほか、「体や服装を清潔にすること」、「相手の話を静かに(素直に)聞くこと」など、周りの人々と気持ちよく過ごすためのマナーがあります。

小学部の段階の子供たちは、身近な大人の姿を見て、まねながら学びます。したがって、私たち大人が子供たちのお手本となるように行動することが大切になります。例えば学校では、登校から朝の会、授業の始まりと終わり、帰りの会、下校といろいろなあいさつの場面があります。そこで、教師が元氣よくあいさつをして、子供たちにも相手の方を向いてあいさつするように促すようにしています。また、授業では友達同士で協力する場面を設けて、友達との関わりの中で穏やかなやりとりができるように指導しています。

そして、なによりも笑顔でいることが大切な態度の一つと言えます。そこで、子供たちが笑顔で過ごせるような学校生活づくりに努めていきます。

(小学部 榎本)



～中学部での進路の考え方～

「あっという間だったけれど小学部・小学校の6年間で、やっとここまで成長できた。」というお話を、以前中学部の保護者の方からお聞きしたことがあります。中学部の進路学習では、将来働くことや生活することについて考え、行動する力を育てていこうと取り組んでいます。そんな中学部の保護者の方の中には、「就労継続支援A型・B型って何？どう違うの？うちの子にはどんな進路が合っているの？」そんな「？」をたくさんお持ちの方もお見受けします。中学部卒業後、高等部に進学すると、産業現場等における実習等を経験しながら、いよいよ進路を決定していくことになります。生徒一人一人の確かな将来に向けたよりよい進路選択のために、情報をたくさん仕入れていきましょう。まだ3年後、6年後だから…と捉えるのではなく、あっという間に3年・6年が過ぎると捉え、どこに（自立して？支援を受けて？）住むのか、日中はどのように過ごすのか、どうやって通うのか等を具体的にイメージしてみると、中学部生の今から準備しておいた方がよいことが見えてくるのではないのでしょうか。御不明・御不安な点は、担任や進路指導係をはじめ、同学年や先輩の保護者の方、相談支援員の方など、相談しやすい方に御相談されてみてください。一つずつ具体的に情報を集めていくことで、よりよい進路選択につながると思います。

今年度も、以下の表のように生徒及び保護者の進路に関する様々な取組を計画しておりますので、御協力をお願いします。

令和6年度中学部における進路学習・進路指導

月	生徒の主な学習内容	保護者の取組内容
5	総合「自分を見つめる」進路に関する 課題設定活動【全】	進路希望調査【2・3年】 ミーティング(進路相談を含む)
6	総合「お掃除教室」【1年:机上清掃, 2年:自在ほうき, 3年:ダスタークロス】 前期校内実習【全】 (高)実習激励会セミナー視聴【全】 総合「高等部作業学習見学」【3年】 高等特別支援学校体験学習会【希】	
7	生単「社会学習」における施設等見学 【3年】	(高)事業所等説明会への参加【希】 進路についての基礎学習会【1年 PTA】 進路に関する情報提供, 情報交換等【全】
8		(高)職場見学・就労支援セミナー【希】 (高)PTA 進路に関する研修会【希】
9		進路希望調査【3年】
10		PTA 施設見学Ⅰ・Ⅱ【希】
12	総合「高等部作業学習体験」【3年】	高入学者選考に関する説明会【3年 PTA】
1	後期校内実習【全】 作業学習「販売活動」【全】	
2	高等部入学者選考に向けた学習【3年】	ミーティング(進路相談を含む)
3	総合「自分を見つめる」進路に関する 施設等の調べ学習【1・2年】	進路についての学習会(施設等側から見た 「今つけてほしい力」)【2年 PTA】

【希】:希望者対象, 【全】:全学年対象

中学部 「なりたい自分」になるための、働く力を身に付ける取組

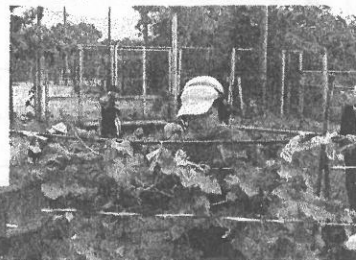
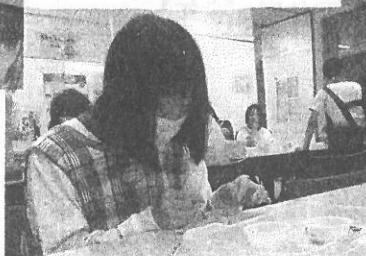
○ お掃除教室

毎年、6月に行われているお掃除教室。働く上での態度や、清潔で整理整頓された環境を保つことの大切さについて学習する機会として取り組んでいます。1・2年生は、高等部進路指導主任を講師に招き、机上清掃や自在ほうきの扱い方、清掃に関する基本的な技術、働く上での身だしなみ等を分かりやすい言葉で説明していただきました。実際に技能検定に合格した高等部の先輩方に模範を見せていただいたりしたことで、身近なこととして捉えることができていました。3年生の学習では、外部講師を招いた学習を今年も実施することができ、3年間の総括として、自在ほうきを中心に、机上清掃やダスタークロスの使い方も含め、清掃全般に関する体験活動を取り入れた学習を行いました。学習後、清掃時間にはこれまで以上に真剣に清掃に取り組む生徒や、挨拶時に相手の目を見たり、姿勢がよくなったりと、意識が高まったことが実感できました。全学年とも、高等部進学後にある技能検定やアビリンピック等を見据え、正しい道具の持ち方や清掃の順番なども、細やかな指導をしていただきました。「きれいにしよう！と思う気持ちが大事」「掃除上手は仕事上手」等、生徒の心に残るキーワードもあり、「なりたい自分」になるために、また一歩前進できたのではないのでしょうか。



○ 作業学習、前期校内実習

中学部では働くための力を付ける学習として週2回作業学習に取り組んでいます。学習の始めには、必ず作業学習の4つの目標「挨拶・返事・報告をする」「時間いっぱいがんばる」「みんなで協力する」「安全に気を付ける」を全員で読み上げ、意識して作業するようにしています。また、6月には5日間の「前期校内実習」があり、働くことの大変さ等を、体験を通して学習します。「ただ作業学習が一日中あって、それが5日間続くだけ。」と思わないように、事前学習で「TTカンパニー（たけとく会社）」の社長である校長先生から各班向けに仕事依頼があったり、事後学習でも納品会を行ったりするなど、『依頼されたことを目標にして、仕事として取り組む』ことを大切にしながら実習に臨みました。また事後学習では、出来上がった製品を納品した際に副社長からの称賛の言葉も受け、VTRを見ながら自分たちの頑張りを振り返り、達成感を得られたようです。今後も継続して作業学習に取り組み、後期校内実習や製品の販売学習（1月）へとつなげていく予定です。



(中学部進路指導 米倉)

高等部



実習激励会（セミナーの部）

6月14日（金）に、講師としてMBC南日本放送アナウンサーの岩崎弘志様をお招きし、「コミュニケーションの大切さ」について講話をしていただきました。

岩崎さんが、「仕事する上で必要なこと」「なぜ、コミュニケーションをとるのか」「コミュニケーション能力を高める方法」など、御自分の仕事などでの具体的なエピソードを入れながら分かりやすく話してくださいました。



<具体的にコミュ力高める方法>

1. 「声」を磨こう
2. 「笑顔」で緊張をほぐそう
3. 「挨拶」 明るい声、笑顔で
4. 「相づち」を入れて聞き上手に
5. 「共通の話題」を探そう
6. 「5W1H」を駆使しよう

また、生徒からの質問に対しても一つ一つ丁寧に答えてくださいました。

特に2・3年生にとっては校外での実習のため、「コミュニケーションをとること」について目標にしている生徒もあり、今回の講話は、仕事をする上でもですが、これからの学校生活でもとても参考になったことと思います。

前期産業現場等における実習

6月17日（月）から28日（金）までの10日間、2，3年生は企業や障害福祉サービス事業所で、1年生は学校内での実習に取り組みました。特に、1年生にとっては初めての実習ということもあり、緊張している様子も見られましたが、それぞれの目標に向かって、取り組むことができていました。

いつもと違う長い時間の作業や慣れない通勤に疲れもあったと思いますが、やりきったことで自信につながったのではと思います。今後の作業学習や実習につなげてほしいと思います。

校内実習（1年生）

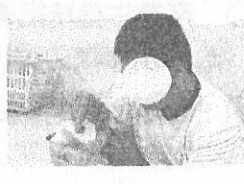
- 1班：エコバッグやミシンでの雑巾作り、清掃作業など
2班：吸油パッドやお掃除棒作りなど
3班：はがき作り、レクリエーションなど

校内実習で作った製品は、前期の実習先に配られます。



校外実習（2・3年生）

企業、就労移行支援、就労継続支援A型・B型、生活介護、自立訓練、共同生活援助（グループホーム）などに行き、それぞれの実習先で頑張りました。公共交通機関を利用した通勤をした生徒もいます。



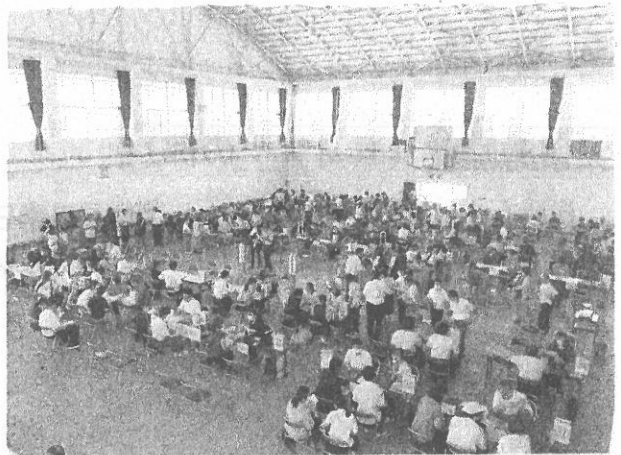
事業所等説明会

7月3日（木）・4日（金）に本校体育館にて、事業所等説明会が実施されました。鹿児島市内、約80カ所の障がい福祉サービス事業所や関係機関などから参加していただき、本校及び他校の高等部生徒や保護者、中・小学部の保護者が説明を聞くために各ブースを回りました。

本校では、小中学部の保護者も参加できるようにしているので、ぜひ積極的に活用してください。

また、高等部生にとっては、今後の進路先や実習先を具体的に考えるための情報を集める良い機会となりました。夏休みに施設見学や体験などをしたり、後期の実習先を考えたりするなど、今後の進路の取組につなげてほしいと思います。

各事業所のパンフレットなどは、進路室にあります。お問い合わせください。



鹿児島県障害者技能競技大会「アビリンピックかごしま2024」

7月6日（土）にポリテクセンター鹿児島にて、ビルクリーニングA・B、オフィスアシスタント、ベッドメイキング、写真撮影、ワープロの6種目が行われ、8日（月）には、鹿児島ホテル短期大学校（鹿児島市）にて喫茶サービスA・Bが行われました。本校からは4種目に7名の生徒が、卒業生の2名が2種目に選手として出場し、実習前からそれぞれ本番に向けて練習を積み重ねてきました。ビルクリーニングBで2年生の川村さん、ビルクリーニングAでは卒業生の中村さんが銀賞を、喫茶サービスBで3年生の内野さんが努力賞を受賞しました。



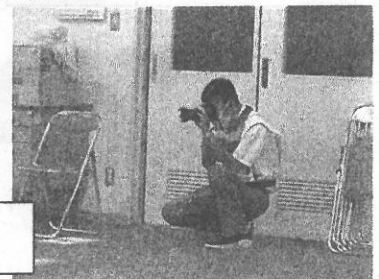
ビルクリーニングB



オフィス
アシスタント



喫茶サービスB



写真撮影

卒業生への支援・指導

- 卒業生継続指導として、7月末に令和6年3月の卒業生を中心に進路先へ訪問指導を行いました。（前後期の実習期間にも実施しています。）
- 同窓会行事では、6月30日（日）にたけのこ会の総会が開催されました。今年度は、9月に交流会（ボウリング）が実施されました。（高等部 小田）